

# 第4回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

## 人の尊厳に根ざす生活困窮者自立支援で 新しい社会保障の展望を共に拓く

### 一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 第四期社員総会 報告

通信 **2-2**

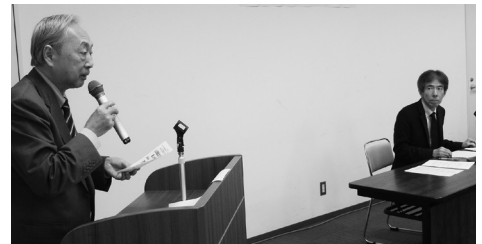
2017年11月11日(土) 10~11時、高知県立県民文化ホール事務棟4階第6多目的室にて、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク第四期社員総会を開催しました。

社員総数64人のうち、出席31人、委任状提出13人、議決権行使書による出席が12人であり、総会は有効に成立しました。

議長の一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事宮本太郎さん(中央大学法学部教授)のもと、「第一号議案 平成28年度活動報告承認の件」「第二号議案 平成28年度決算報告承認の件、監査報告」「第三号議案 平成29年度活動方針決定の件」「第四号議案 平成29年度予算決定の件」が行われ、すべて採決されたことを報告いたします。

なお、議案書につきましては、生活困窮者自立支援全国ネットワークのホームページ上にアップロードする予定です。

### 一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク 第四期社員総会



### 大懇親会

1日目の夜には、「ザ クラウンパレス新阪急高知」にて、申込参加者と講師による大懇親会が開かれました。厚生労働省社会・援護局長の定塚由美子さんによる乾杯のご発声のあとは、今年のおよこいまつりで金賞を受賞した「旭食品チーム」にお越しいただき、「よさこい鳴子踊り」などを披露いただきました。

お待ちかねの大抽選会の特賞は、「第5回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 参加ペア券」。見事引き当てたのは、宮古市福祉事務所の熊谷剛さんでした!



### バス・タクシーのご案内

#### 高知龍馬空港までのバスのご案内



高知駅6番乗り場	はりまや橋	高知龍馬空港	
14:30	14:35	14:55	高知駅前観光
14:45	14:50	15:10	とさでん交通
15:00	15:05	15:25	高知駅前観光
15:15	15:20	15:40	とさでん交通
15:30	15:35	15:55	高知駅前観光
15:45	15:50	16:10	とさでん交通
16:00	16:05	16:25	高知駅前観光
16:15	16:20	16:40	とさでん交通

さくらハイヤー 088-831-8088

みくにハイヤー 0120-840-392

高知県立大学~高知空港までの料金は、5,000円弱です。



高知駅6番乗り場	はりまや橋	高知龍馬空港	
16:30	16:35	16:55	高知駅前観光
16:45	16:50	17:10	とさでん交通
17:00	17:05	17:25	高知駅前観光
17:15	17:20	17:41	とさでん交通
17:30	17:35	17:55	高知駅前観光
17:50	17:55	18:17	とさでん交通
18:50	18:55	19:15	高知駅前観光

バス料金は720円です。

2017年11月10日前夜祭における生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事の岡崎誠也さんと、同ネットワーク顧問の村木厚子さんとの熱烈対談が、11月11日付けの高知新聞朝刊に載りました。

全国交流大会前夜祭

# 困窮者自立支援で対談

## 岡崎高知市長と村木元次官

生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談や就労支援などに携わる全国の担当者ら約1200人が集う「全国研究交流大会」(11、12日・高知市)の前夜祭が10日夜、同市内で開



生活困窮者自立支援全国研究交流大会の前夜祭で対談する村木厚子さん(右)と岡崎誠也高知市長(10日夜、高知市本町3丁目)

かれた。主催する「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」(事務局・東京)代表理事の岡崎誠也・高知市長と、厚生労働省元事務次官で同ネットワーク顧問の村木厚子さん(高知市出身)が対談。同法の意義や課題を語り合った。2人は社会保障審議会委員や厚労省援護局

長として制度設計から関わってきた旧知の仲。まず村木さんが「この対談、土佐弁でやりますか?」と切り出し、関係者約80人が訪れた会場を沸かせた。

村木さんは「この法律は制度の理論立てを支援の実践家が担った点で画期的。(支援を)縦に割らないようにしたい」と指摘。岡崎市長

は、高知市が全国に先駆け2013年度からモデル的に始めたワンストップ窓口を契機に関係機関同士の連携が深まった例などを挙げ、「法律が原動力となつて入り口はできた」と述べた。

一方で、専門家と連携した継続的支援の重要性や、職員数の少ない自治体の活動には限界があることなどを課題に挙げ、施行3年後の見直しに向け「制度に血を通わす支援者のネットワークが重要」と訴えた。

村木さんは「日本の(相対的)貧困は見えにくいところがあり、いかに困窮者支援の重要性を住民に理解してもらおうか」を課題に挙げ、「地域の困り事や課題と困窮者の問題が関連する。どっかかり」を見つけていくのが良

いかかもしれない」と提言した。岡崎市長は、防災や高齢者の見守りなどを契機に地域のつながりを醸成していくことが困窮者支援にもつながる、との考えを示した。(早崎康之)

47news サイトからも閲覧可能です。

[http://www.47news.jp/localnews/kochi/2017/11/post\\_20171111101602.html](http://www.47news.jp/localnews/kochi/2017/11/post_20171111101602.html)